

1学年通信

～自覚～

Vol.3

R3.5.18発行

文責 木村有里

前期生徒総会がおこなわれました

5月10日（月）に、令和3年度前期生徒総会が開催されました。生徒たちは、事前に学級で行われた議案書審議の場で生徒総会の議案書を熟読し、質問や意見を考えていました。

生徒総会では、ホームルーム委員を中心に質問や意見を全校の前で発表しました。高校生活初の生徒総会に、生徒たちは緊張しながらも、堂々と先輩たちに質問や意見を言っていました。



考査まで1か月を切りました

ゴールデンウィークも明け、生徒たちも学校生活のサイクルを身につけてきた頃かと思いきや、もう前期中間考査まで残り1か月を切っていました。

本校の定期考査は、6月、9月、11月、2月の年4回行われます。大会直前でない限り、**部活動は考査1週間前から禁止**となっております。考査期間中は1日2～3科目考査を受け、放課となりますので**基本的には午前みの登校**となります。考査の時間割は発表され次第、またご連絡差し上げます。

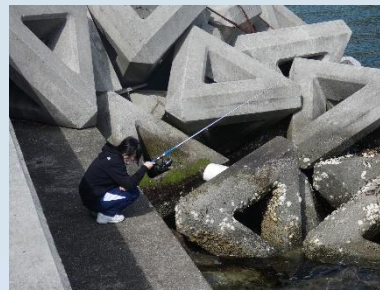
高校の教育課程と義務教育の大きく異なる点の一つとして、**いわゆる「赤点」をとると進級できなくなる**、ということが挙げられます。本校では**定期考査と平常の評価を合算した点数が40点未満だと「赤点」と**なります。前期中間から後期末まで、4回の評価の点数の平均が40点未満の際、進級できなくなる可能性が出てきます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

はま研究会がスタートしました！

ゴールデンウィーク中の5月4日（火）に、はま研究会の活動「大槌湾魚類調査」（通称：釣り）が開催されました。今回の活動が、1年生にとっての初めての「はま研」の活動となります。

風は少々強いものの天気と気温に恵まれた当日、蓬莱島付近に1年生5名が集まりました。生徒たちは辛抱強く待ちながら、「ムスジガジ」の稚魚やカジカの仲間を釣り上げました。また、蓬莱島付近の磯でウミウシを発見した生徒もいました。今年度より、どの生徒も楽しんで活動をしていました。

参加した生徒は、「小さいころから釣りに親しんできました。今回、はま研に入会して初めての活動でした。小さいですが魚が釣れたのでとても楽しい時間を過ごせました。」と感想を話していました。



今日のおおつち

～生徒の投稿写真～

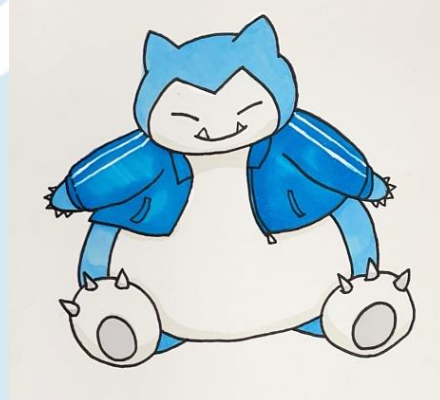
P.N. M.E

登校中に花が咲いてました！



P.N. ケツ

学校帰りの寂しさと学校から開放される嬉しさが混ざり合い不思議な気持ちになった一瞬を撮影したものだ。
そこには写ってはいけないものが映っていた。



P.N. プチまる

いたって普通のカビゴンです！

三者面談について

本校では、毎年7月上旬、12月上旬に三者面談を行っております。普段の生徒の学校での頑張りや、将来に向けてなど、様々な話を生徒も交えて行っていきます。詳細日程、時間等は追ってご連絡差し上げます。保護者の方にはお忙しい中お手数をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。

また、三者面談に先駆けまして、進路希望調査を配付いたします。生徒が卒業後どんな道に進もうと考えているのか、保護者の方はどのように思われているのか、進路に関する気になることなどを教えていただければと思います。この機会に、ぜひご家庭で進路について話す機会を設けていただければと思います。

「一生勉強 一生青春」

新入生オリエンテーションの資料の表紙に、「一生勉強 一生青春」という相田みつをさんの名言を載せました。これは、勉強、部活、マイプロなど高校生活のあらゆる場で培っていく「学ぶ姿勢」を、激動の時代を生きる生徒に一生続けてほしい、という思いから載せました。

また、この高校時代の経験、感情を一生忘れず、生きていってほしいという思いも込めて載せました。一生に一度、3年間しかない高校生活を、様々なことに興味を持ちながら学んでいってほしいです。



編集後記（ひとりごと）

内陸出身の私が大槌に住み始めて3年目となりますが、いまだにテンションが上がってしまうのがこの時期のスーパーの鮮魚コーナーです。

初めて衝撃を受けたのは、「イルカの肉」が販売されていたことでした。しかも「大槌産」！内陸ではクジラの肉もめったに見かけなかったので、とても驚きました。シュウリ貝（ムール貝）や赤皿貝が当然のように売られていたり、この時期には生シラスやウニ、ホヤも店頭と並んでおり、スーパーに行くこと自体が一つの趣味になってしまいました。

現代では、ニンジンやイチゴなど、一般的な食材は一年中、どこでも見かけます。そんな中で、この土地ならではの食材、旬の食材を見かけることが、今では日常のささやかな楽しみです。